



山行報告書

(2014.03.26改訂)

日時	2015年2月14日(土)		
山名	九重山系		
CL	諫山	参加者	諫山・高田・吉田 (3)名
HP記載の有無:			
(コース)	5時牧ノ戸峠登山開始～6時30分星生山～天狗ヶ城～中岳～稲星山～星生山 ～13時牧ノ戸峠		
(コメント)	<p>久しぶりの冬の九重朝駆け。誘いに乗ったのは、ヨッシーとゆうちゃん。天気予報は微妙だけど、晴れることを信じて。何しろ朝駆け初めてのゆうちゃんには、何とかいい思いをしてもらわないと…。しかしながら、ガスが出てる。うーん。朝駆けは、朝陽が見えなければただの修行。いつものように、星生の稜線に立つと、強い風。星生山頂は6時30分。少しずつガスが切れる。じっとしていると寒いので、稜線を星生崎方面に。地吹雪がサングラスや目出し帽の隙間から入りこむ。来た来た。少しずつガスが切れる。星生崎では最高の晴天に。ゆうちゃんを待たせながら、ヨッシーと二人で夢中でシャッターを切る。星生崎を駆け下り、天狗～中岳～稲星と周回。稲星は、風でシュカブラっぽくなっており、良い感じ。その後再び星生へというのは、このメンバーならではのご愛敬。端っこまで星生を縦走して下山。</p> <p>修行のような登山と、最高の景色のコラボに満足の1日となった。</p> <p>ゆうちゃんとヨッシーも喜んでくれたかな。 (記:諫山)</p> <p>いつもPOWER全開の兄キと姉さんに誘っていただき、初めての「冬山朝駆け」を体験しました。山は3時には、小屋に入るか下山するものと思っていましたが、いろいろな時期・時間帯を歩くその経験が、遭難を遭難にしない強い気持ちを作るのではと思いました。</p> <p>「夜討ち」・「朝駆け」・「夜間行軍」、ISSAさん また企画をお願いします。</p> <p>また、星生直下の地吹雪は氷雪が容赦なく素顔に打ち付け、サングラスは自分の息が凍りつき視界は無く、パーカのフードはヘッドランの明かりを遮り、指先は刺すように痛むという「これまでに経験したことのない」ものでした。</p> <p>これからは稜線に出る前に早め、早めの対策を取らなくてはと良い体験をしました。 (記:高田)</p>		
			
	<p><星生崎のゆうちゃん></p>		<p><稲星山のシュカブラ></p>
費用概算			
(交通費)	総額	÷○＝	
(その他)	□□	÷△＝	